

8 木簡の釈文・内容

(1)

「

辛人マ白人

瓜工マ逆

<

若倭マ赤麻呂

伊蘇マ□□

合五人

□□□□マ首支

」

32.6×4.9×1.032

長方形板材の下端の左右に切り込みを入れており、切り込み部分には、紐状の痕跡がある。上端部は、表裏両面から切り込みを入れて切断したままで、原形を保つ。文字は墨が流れ、文字部分の盛り上がりによって僅かに判読できる程度である。

本資料の用途は断定できないが、計五名の人名が、上下二段、合計五行に整然と記されており、それぞれ書き始め・行取りなどの割付が均等に行われている。また、扁平な「人」の字の表記や、「部」の異体字に「ア」字を用いる点などとともに、全体的に柔らかな筆使いであることが特徴的である。

なお、木簡の釈読と内容については、国立歴史民俗博物館の平川南氏にご教示いただいた。

(1-7 松井一明、8 白澤 崇)



木簡研究 第一九号

巻頭言

一九九六年出土の木簡

町田 章

概要 平城宮跡 平城京跡 藤原宮跡 恭仁宮跡 長岡京跡 平安京跡
左京八条三坊十四町(八条院町) 末窯跡群 大坂城跡 広島藩大坂蔵屋敷跡 樟葉野田西遺跡 三条九ノ坪遺跡 大物遺跡 深田遺跡 安倉南遺跡 明石城跡坤櫓 明石城武家屋敷跡 袴狭遺跡 印場城跡 角江遺跡 御殿・二之宮遺跡 川合遺跡志保田地区 北条小町邸跡 伊興遺跡丸の内三丁目遺跡 汐留遺跡 江戸城外堀跡牛込御門外橋詰 尾張藩上屋敷跡遺跡 青山学院構内遺跡 岡部条里遺跡 上山神社遺跡 湯ノ部遺跡 観音寺城下町遺跡 小谷城跡 高山城三之丸堀跡 松本城三の丸跡土居尻 松本城下町跡伊勢町 前橋城遺跡 大猿田遺跡 根岸遺跡 泉平館跡 山王遺跡 舟場遺跡 無量光院跡 志羅山遺跡 後田遺跡 亀ヶ崎城跡 宮ノ下遺跡 上高田遺跡 大桶遺跡 杉田柵跡 長田南遺跡 金石本町遺跡 田尻遺跡 大坪遺跡 舞臺遺跡 馬寄遺跡 下町・坊城遺跡 新発田城跡 目久美遺跡 天神遺跡 三田谷I遺跡 鴻の巣東遺跡 吉川元春館跡 長登銅山跡 飛田坂本遺跡 博多遺跡群 香椎B遺跡 鞠智城跡 前田遺跡 那覇港周辺遺跡群旧東村地区
一九七七年以前出土の木簡(一九)

美作国府跡

韓国出土の木簡について

史料紹介 琉球の木簡二題

書評 山里純一著『沖繩の魔除けとまじない―フーフダ(符札)の研究―』

書評 東野治之著『長屋王家木簡の研究』

衆報

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円